

第3期鮫川村デジタル田園都市構想総合戦略

令和7年度 検証・評価・見直しシート

令和7年3月

鮫 川 村

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	地方に仕事をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	地域ブランド「まめな暮らし」で稼げる村づくり	農林商工課	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
鮫川村きぎょう・創業支援 事業採択数	5	0	村補助事業を活用した取組となり明確な数値となるため

■ R7の取組内容

①	新規産業・創業支援事業の推進				担当課	農林商工課	記入係				
人口減少の著しい本村では、新規産業創出が重要であると考えています。スタートアップ企業の輩出に向けて、実証の場の創出支援に努めます。 また、特定地域づくり事業協同組合の活用により、マルチワーカーを村に呼び込み村の新たな産業創出人材の確保を図ります。 さらに、移住者も含めた、創業支援対策の強化が重要です。生活支援ニーズに対応した雇用の創出を目指し、草刈り作業のほか、雪かきなどを担い、豊かな暮らしへの実現へ向けて、人手不足の需要も含めて新たなサービスの創出を実現し、共助のビジネスモデルの構築を支援し、さまざまな分野で小さな創業から支援できる体制を構築します。多地域居住・他地域就労など時間と場所にとらわれない働き方に対応できる村づくりを推進し、魅力的な雇用機会の創出を支援します。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		地産地消と地域循環で稼げる村づくり		村づくりの分野		商工業と雇用対策					
予算項目を記入											
章	7	商工費	節	1	商工費	項	1	商工業振興事業費	事業	1	商工業振興
章			節			項			事業		
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組

④	環境と共生する企業等の誘致促進及び里山オフィス整備と起業支援	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係			
・村内における経済の活性化に向け、本村の優れた農村環境・里山景観と共生する企業や、研究機関等の立地促進に向けた取り組みを進めます。 ・テレワーク等、新たな働き方に対応し、気軽に働くことができる場所（起業できる場所）を提供することにより、移住者・起業者の増加または企業進出を促進します。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	2 里山オフィスの整備、起業者支援	事業	里山オフィス整備	
章		節		項		事業		
取組の成果		鮫川村きぎょう・創業支援事業補助金交付要綱を創設（R6. 4. 1施行） R6年度実績3件（パソコン教室、漬物加工所2件）					評価	B
推進上の課題		・移住定住施策との連携 ・立地条件で劣る鮫川村を選んでもらえる仕組み、利点が重要になる					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		・起業、創業者に対しての支援体制の構築						

⑤	ハローワーク求人情報提供	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・ハローワーク白河から送付される雇用情報をホームページで公開、窓口の情報誌を設置し、情報提供を行います。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	1 求人情報の提供と事業所への働きかけの推進	
章		節		項	事業	
取組の成果		窓口での情報誌の掲示及びホームページでの周知協力を行った。			評価	C
推進上の課題		村内事業所の求人に対し、いかに応募数を増やしていけるか。			方向性	縮小
新たな取組や見直しの方向等		求人情報はインターネットで検索できる時代であり、仮に求人情報の内容について問合せがあってもハローワークへ問合せいただくしか方法がないため、紙媒体での情報提供を廃止する方向としたい。今後は、ふくしま生活・就職応援センター等と連携した取り組みを模索していく。				

①	仮称「鮫川村環境公社」設立	担当課	農林商工課	記入係	農林畜産係			
・中山間農業の支援と農村環境の維持管理するため、組織的に支える仕組みとして仮称『鮫川村環境公社』の設立を目指します。 ・担い手が高齢化した世帯の農地の管理を通じ、村内の環境維持に努めます。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	3 施設管理組織等の育成	事業	振興公社、環境公社の立ち上げの検討	
章		節		項		事業		
取組の成果		村内の情報を集め検討段階であり、成果はまだ出ていない					評価	C
推進上の課題		・高齢化と後継者不足が深刻で、特に稲WCSやデントコーン収穫などの農業受託を担う組織の育成が将来的に必要となる。 ・収益採算性の確保に向けた事業展開が大きな課題となる。 ・主に公社を運営する人材、組織の育成が課題となる。					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		環境公社を農業公社とし、組織づくりと人材確保など、公社が取り組む事業の検討が必要。 村内業者や他事業との連携（小中一貫校、中心地活性化、手まめ館運営など）を図る必要があるため、全庁的な議論が必要。						

②	中心地域の賑わいづくり	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係		
公園周辺へ店舗等の誘致・周囲には起業による新たな店舗の誘致やチャレンジショップの開設などを通じて、回遊性を高め、賑わいづくりの相乗効果を図ります。							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	3 広域観光・交流体制の充実	事業	
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	事業	
取組の成果		企業訪問を実施（29社）				評価	B
推進上の課題		企業訪問にて出てきた課題として、事業継承の意思はあるものの、後継者がおらず継承できないという課題がある。また、従業員不足の企業も多い現状である。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		事業継承できるような環境整備、地域おこし協力隊の活用等。					

②	商店街の維持・存続に向けた取組みの検討・推進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係		
・ 村内の事業所や地域の発展のために活動する商工会の活動を支援します。							
第４次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	1 商工会の活動支援事業	商工会における課題解決のための費用助成	
取組の成果		商工会の指導職員、商工会青年部・女性部の団体活動の支援を行ったことで商工会の運営と村内事業所の振興が図れた。				評価	B
推進上の課題		第三者承継など持続可能な経営方法の提案				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		継続して指導職員設置費、事務局長設置費、商工団体活動の一部を支援					

③	地域経済循環の推進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係			
・チャレンジショップやフリーマーケットとマルシェの合同イベント、軽トラ市の定期開催などを実施し、村に埋もれている起業者を発掘し、さまざまな物が村内でも買えるシステムを構築します。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	事業	商工会が実施する商店等の維持活動に対する助成	
章		節		項		事業		
取組の成果		まめな暮らし応援商品券の発行（1回）					評価	D
推進上の課題		事業推進役と起業者の発掘					方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		地域ポイントなどの導入を検討していく。						

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	地方に仕事をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	地域ブランド「まめな暮らし」で稼げる村づくり	農林商工課	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
スマート農林業機械導入農家数	10	2	農業担い手の省力化が持続可能な農業経営につながるため

■ R7の取組内容

②	スマート農林業の推進	担当課	農林商工課	記入係							
スマート農林業は、担い手不足の中山間地域だからこそ推進していく必要があります。 一方、まめな暮らしで育まれる郷土愛も大切です。デジタル技術で代用できる分野は推進し、空いた時間で「手まめな農業」を実施できる体制を支援します。 また、農業関連団体と連携し、センサーやリモート制御による農業機械等の遠隔操作、ドローン等を活用した農薬や肥料の適量散布、AI等を活用した熟練者の技術の再現、アシストスーツを活用した作業の軽労化など技術利活用に向けた検討も始めます。 ICT等を活用した森林施業の効率化や高度な木材生産、森林における通信の確保、デジタル林業戦略拠点の創出に取り											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性	地産地消と地域循環で稼げる村づくり		村づくりの分野	農林業							
予算項目を記入											
章	6	農林水産業	節	1	農業日	項	3	農業振興費	事業	1	農業振興対策事業費
章			節			項			事業		
取組の成果										評価	A
推進上の課題										方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等											

■ これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：		
取組の成果		評価	B
推進上の課題		方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等			

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	地方に仕事をつくる	施策主管課	作成日	R7. 3. 6
主要施策	地域ブランド「まめな暮らし」で稼げる村づくり	農林商工課	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
地域ポイント利用者数	900	150	関係人口創出アプリで導入した地域ポイントを有効活用し、村内外の人材を活用できる事業を展開する

■ R7の取組内容

③ 人材育成DX推進			担当課		村づくり推進室		記入係								
今まで行ってきた人材育成事業を継続し、また地域経済循環との融合を図りつつ、自助・共助の精神の醸成を図り続けることが、過疎地域における地域コミュニティの維持に重要であると考えています。 そこで、間接的に地域ポイントの導入などにより、新たなる地域人材の発掘や地域力の向上を図るための施策を行います。昨今、有償ボランティア制度が主流のため近隣町村の人材活用も検討します。															
村づくりの方向性と分野を記入すること															
村づくりの方向性		地産地消と地域循環で稼げる村づくり			村づくりの分野		関係人口の創造								
予算項目を記入															
章	2	総務費		節	1	総務管理費		項	6	企画費		事業	8	さががわむらぶ事業費	
章				節				項				事業			
取組の成果												評価	B		
推進上の課題												方向性	維持		
新たな取組や見直しの方向等															

■ これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：				
取組の成果				評価	B
推進上の課題				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等					

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	地方に仕事をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	地域ブランド「まめな暮らし」で稼げる村づくり	農林商工課	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
観光及びインバウンド向けコンテンツの作成数	3	0	人材不足をコンテンツ等で補うため

■ R7の取組内容

④	インフラ整備と観光DX	担当課	農林商工課	記入係							
XR技術を活用した観光ニーズへの対応は、へき地だからこそ重要であると考えています。 SNSを活用し、まずは村に関わっていただけそうな地域外の方に対するきっかけづくりを提供し、この村に「来てみたい・住んでみたい・住み続けたい」と思える村づくりの実現を目指していきます。 村道姿平鹿角平線や村道世々麦西谷地線など観光地へのアクセスを向上し、観光客及びサイクリストの誘客を図りながら、人の流れを創出します。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		心豊かな生活が送れるむらづくり		村づくりの分野	公共交通・道路						
予算項目を記入											
章	7	商工費	節	1	商工費	項	3	観光費	事業	3	観光施設管理事業費
章	8	土木費	節	2	道路橋りょう費	項	2	道路新設改良費	事業	2	道路改良費
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

■ これまでの取組み

①	観光・交流資源の整備充実及び有効活用	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係			
・国道289号のバイパス化により、これまでの交通体系から変化がもたらされるため、鹿角平観光牧場を拠点とした観光政策の推進のための事業計画の策定及び整備、天文台や星空等の事業と連動させた事業を展開します。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 観光・交流資源の整備充実及び有効活用	事業	鹿角平観光牧場総合整備計画の策定及び実施	
章		節		項		事業		
取組の成果		貯水タンク1基増設、水源地のポンプ用モーター取替及び給水ポンプの新設					評価	A
推進上の課題		ハード整備の費用は高額になることが予想されるが、村の中心的な観光拠点であるため整備は必須であることから、交付金などを活用しながら段階的な整備が必要とされる。					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		R8年度に鹿角平観光牧場実施計画策定を目指すため、R7年度に関係機関と意見交換（協議）を進める。						
②	観光・交流機能の強化	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係			

・交流施設「ほっとはうす・さめがわ」や農村体験交流施設「山王の里」を活用し、都市住民との交流イベントを開催して、交流人口のさらなる増加を目指します。 ・農家民宿の新規開設者に対する手続きや費用支援のほか、協議会への参加誘導により、交流人口の増加を図ります。 ・民間を活用した温泉旅館の運営により、新たな人の流れを生み出します。							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての特性を生かした観光・交流機能の強化	事業	農村体験交流施設「山王の里」運営事業の検討
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての特性を生かした観光・交流機能の強化	事業	グリーンツーリズム事業の推進／農家民宿運営協議会の支援
取組の成果		①ほっとはうす・さめがわはR5年度に閉館した。再開には多額の修繕費がかかるため閉館とする。 ②山王の里は管理者を募集し、連絡があった3組に施設見学及び経営方針等の説明を行ったが管理者となる意思は示してもらえなかった。 ③温泉旅館「結び」はオープンから4年目を迎え、利用者が増えつつある。				評価	B
推進上の課題		閉館・休館施設の今後の利活用。				方向性	縮小
新たな取組や見直しの方向等		農業体験交流施設「山王の里」の施設としての方向性を検討が必要な時期である。また、施設の解体も視野に入れ検討していく。					

③	広域観光・交流体制の充実	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係			
・東京鮫川会等各種団体と相互協力のもと、交流事業を展開します。 ・東白川自転車活用推進計画に基づき、東白川郡4町村が協力し、観光と一体となったサイクルスポーツの推進を図ります。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	3 広域観光・交流体制の充実	事業	広域連携観光推進事業	
章		節		項		事業		
取組の成果		・4町村によるサイクルイベントの開催。（JR水郡線を活用したサイクルトレインを実施）					評価	A
推進上の課題		村内でのレンタサイクル管理体制の構築					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		・レンタサイクル事業については、東白川サイクリング推進会議内で4町村連携した取り組みを目指している。						

④	農村体験交流の推進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係			
・ 交流人口の拡大と移住対策として、農村生活体験を中心に、村の魅力を堪能してもらい、移住検討のきっかけづくり事業を行います。 ・ 大学生等を対象に、農村生活体験活動を行い、地域の魅力掘り起こしや移住定住に向けた事業の展開をします。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての特性を生かした観光・交流機能の強化	事業	グリーン・ツーリズム事業の推進/農家民宿運営協議会の支援	
章		節		項		事業		
取組の成果		実績なし					評価	D
推進上の課題		村のグリーンツーリズム協議会（村農村体験交流協議会）は震災以降、活動していない。ほっとはうす・山王の里に関しても閉館後新たな活用の動きはない。					方向性	縮小
新たな取組や見直しの方向等		協議会への支援ではなく、意欲的な個人への支援に切り替えを検討する。						

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	地方に仕事をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	地域ブランド「まめな暮らし」で稼げる村づくり	農林商工課	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
草刈り講習会の実施	3	3	村の担い手となり得る人材を育成するとともに、きっかけづくりとなるため

■ 取組内容

⑤	有資格取得支援の推進	担当課	農林商工課	記入係							
こどもたちが、試行錯誤できる環境（親が見守れる環境）と親の知恵を伝承できる環境整備を推進します。そのため村の名人とも交流、自然体験活動指導員の設置や地域学校活動推進員の増員などが、今後の村に必要となっています。 村シルバー人材センターでも人員不足が深刻となり、里山景観の維持が課題となってくる。村民が自主的に景観整備を行えるよう、草刈りやチェーンソー取扱いの講習会を開催し受講料を支援するなど、持続可能な取組みとする。 農家民宿の開業支援などを通じて、特色ある運営のための、自然活動体験活動支援員の取得を推進していきます。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		地産地消と地域循環で稼げる村づくり		村づくりの分野	商工業と雇用対策						
予算項目を記入											
章	2	総務費	節	1	総務管理費	項	6	企画費	事業	6	地方創生推進事業費
章	6	農林水産業費	節	2	林業費	項	1	林業総務費	事業	1	林業振興事業費
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

■ これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：		
取組の成果		評価	B
推進上の課題		方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等			

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	地方に仕事をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	地域ブランド「まめな暮らし」で稼げる村づくり	農林商工課	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
有機農業取り組み農家数	10	0	高付加価値農業を目指すため

■ 取組内容

⑥ 稼げる村への変換				担当課		農林商工課		記入係			
鮫川特有の文化や村ならではの時間の流れを大切に、一次産業（有機農業）の価値を村内外と共有しながら、村ならではの 高付価値化を図り、小さいながらも輝く村、稼げる村づくりに向けて、支援策を検討します。 首都圏と地方との間でWin-Winとなる関係性の構築を図りながら、市場の開拓や良質な雇用の確保に向けて検討して いきます。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		地産地消と地域循環で稼げる村づくり				村づくりの分野		農林業			
予算項目を記入											
章	6	農林水産業費	節	1	農業費	項	3	農業振興費	事業	1	農業振興対策費
章	6	農林水産業費	節	1	農業費	項	7	農村振興費	事業	3	地域活性化起業人事業費
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等											

①	農業の振興と高付加価値化及び6次化商品の開発、販売	担当課	農林商工課	記入係	農林畜産係			
①水田の活用推進及び耕作放棄地の防止のため大豆やエゴマ等の土地利用型作物の生産を振興するとともに、自然に配慮した農産物の栽培等による高付加価値化の農業振興を図ります。 ②大豆やエゴマの加工品開発と販売促進、担い手となる加工技術者の育成、加工施設等の整備を推進します。 ③地域一体となった農地の保全活動を推進するため、「地域計画」を作成し、農地の集積や中核的担い手農家の育成を図ります。 ④後継者や担い手不足の解消を図るため、農業生産を行う法人や集落営農組織の推進を図ります。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	3 「まめで達者な村づくり事業」	事業	大豆生産奨励事業	
章		節		項		事業		
取組の成果		①ゆうきくん堆肥が施用され大豆、エゴマが栽培されるなど、循環型農業の推進と自然に配慮した農産物の栽培に取り組んだ。 ②手まめ館に急速冷凍機「凍眠」があり、特産品開発、地域農産物の加工に取り組んだ。 ③若手担い手の育成として、さがわプライド（農業者団体）を設立し、都市部への物販や若手担い手の視察研修を実施した。 ④1集落で集落営農が取り組まれており、栽培支援を実施した。					評価	B
推進上の課題		①手まめ館の販売力、発信力が低下し、来店者数、売上が減少している。 ②手まめ館組織の強化、物販等を通じて販路拡大が課題。村外の取り組みを学ぶ、視察研修の実施を検討。 ③若手の中核的担い手農家が不足している。 ④湿害、作業効率の低下等の影響があり、農地の条件を整備する必要がある。 ⑤手まめ館（直売所）と農家をつなぐコーディネーターが必要である。					方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		①手まめ館の組織の見直しと強化。将来的に法人化を視野に入れる。 ②オーガニックビレッジの構築に向け、R6から学校給食部会を再編成し、学校給食に安定的な地元食材の供給を図る。 ③機能的成分を重視し、購買者のニーズに合わせた新たな加工品開発。（健康志向と売れる商品作り） ④認定農業者や認定新規就農者の支援内容の拡充（未来をつなぐ多様な担い手応援事業の創設） ⑤若手農業者団体さがわプライドや集落営農参加者の拡充（人数の増加）						

②	物販販売促進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係		
・イベント等を通じて、村産農産物の安全・安心を消費者に対して直接理解していただくとともに、農産物や特産品の販売促進を図ります。							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての特性を生かした観光・交流機能の強化		
章		節		項			
					事業	ふる里振興協議会の運営支援	
					事業		
取組の成果		東京都北区で開催される催し（王子銀座商店街「秋の味覚祭り」、北区区民祭り、鮫川村出張料理教室、食育フェア）に出店し、大豆・えごま加工品等の販売促進に寄与した。また、さめがわプライドによる販売も行い、消費者へ直接、本村の農畜産物の安全・安心について訴求した。				評価	B
推進上の課題		えごま商品全般の売れ行きが悪く、商品開発等が必要。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		手まめ館職員の人手不足、生産者の高齢化により、物販への参加が難しい。このため、さめがわプライドを主体とした参加へ切り替えを検討していきたい。					

③	特産品販売振興	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係			
・エゴマを加工品販売促進と原料確保のため、農家からエゴマを買い取る費用の一部について助成します。								
第４次振興計画　後期計画との関連　※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	３　活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	３　商工業	項	商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	事業	特産品販売促進事業	
章		節		項		事業		
取組の成果		エゴマ生産者の拡大を図るために、生産者へ買取量に応じ奨励金を継続して助成した。					評価	B
推進上の課題		・地域ブランド農産物の維持と生産量の確保 ・油絞りを東白堂のスペースを借りて行っているが、施設貸付を継続しないことを申し受けた。（期限：R7.12.31まで）代替場所の選定及び保健所の許可等が必要となってくる。					方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		エゴマ商品についての販売戦略など商工会と協議し、検討して行く。また、生産者の確保についても検討する。						

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	人の流れをつくる	施策主管課	作成日	R7. 3. 6
主要施策	「つながり」を活かす村づくり	村づくり推進室	作成係	

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
祭事への支援	3	0	各地区で行われている支援を検討し、実施していく

■R7の取組内容

⑦	郷土文化の伝承	担当課	教育課	記入係							
村は、第2次振興計画から「文化の香り高い村づくり」を実施してきました。 その中で現在でも残されている伝承文化は大変貴重です。これらの文化を絶やすことなく後世に引継ぎ、古き良き伝統ある村の存続を図ります。 また、各地域で行われている祭事も貴重な地域コミュニティの維持につながります。村民一人ひとりの伝承の機運を醸成し、祭事の維持を支援します。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		健やかな人をみんなで育むむらづくり		村づくりの分野	生涯学習・スポーツ						
予算項目を記入											
章	10	教育費	節	5	社会教育費	項	1	社会教育総務費	事業	3	文化関係事業費
章			節			項			事業		
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：		
取組の成果		評価	B
推進上の課題		方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等			

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	人の流れをつくる	施策主管課	作成日	R7. 3. 6
主要施策	「つながり」を活かす村づくり	村づくり推進室	作成係	

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
保育園留学実施世帯数	10	0	保育園留学からデュアルスクールへハードルを上げて、子育て世代に村を実際に楽しんでもらい徐々に定住につなげていく

■R7の取組内容

⑧	定住・二地域居住等の推進	担当課	村づくり推進室	記入係							
これまで培った移住施策のノウハウを活用しながら、コロナ禍により進んだワーケーションやリモートワークの需要を取り込み、小中学校におけるデュアルスクールの導入や未就学児をこどもセンターで受け入れることで、都市部の子育て世代が村に短中期間滞在できるような環境を整え関係者の多様な生き方を後押ししていきます。 それとともに村においても、年々減少していくこどもたちが一定程度の集団として教育を受けられるような環境を整えていくことで、村の子育て世代の不安を軽減し、若い世代が住みたい・住み続けたい・住み続けられる村づくりを進めます。 都市を拠点としながらも、ゆとりある生活や豊かな自然・環境の下、地方の暮らしを体験できるようになるなど、デジタルの力を活用しながら地方創生を進めていきます。 また、地域おこし協力隊の募集にさらに力を入れて取組み、定住者の確保にも努めます。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		地産地消と地域循環で稼げる村づくり		村づくりの分野	移住・定住						
予算項目を記入											
章	2	総務費	節	1	総務管理費	項	6	企画費	事業	5	移住定住促進事業費
章	2	総務費	節	1	総務管理費	項	6	企画費	事業	6	地方創生推進事業費
取組の成果										評価	A
推進上の課題										方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組み

③	空き家の貸し出し事業	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係			
・村外からの移住希望者へ、空き家の貸し出しを行います。 ・貸し出しのための体制づくりとして、商工会や工務店などによる村内の全体的な管理組織「空き家管理ネットワーク」立ち上げを検討していきます。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	事業	移住支援策の強化	
章		節		項		事業		
取組の成果		すぐに住める空き家が登録されていないため、村営住宅の空きを活用した短期滞在型のお試し移住に向けて調整を行ったが、国からの許可が下りなかった。					評価	C
推進上の課題		移住希望者やお試し移住希望者が利用できる空き家（状態が良い）の確保					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		村内事業者を中心に空き家管理ネットワークを立ち上げていきたい。						

④	子育て世代住宅建設の支援	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係	
・子育て世代に対する、住宅建設やリフォームに対する支援を検討します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	
章		節		項		
取組の成果		R3.4より移住定住促進補助金を創設（45歳以下限定） ・戸建て中古住宅取得補助事業 R4：1件 R5：0件 R6：1件 ・移住者居住支援補助事業 R4：1件 R5：0件 R6：0件 ・若年層定住促進補助事業 R4：2件 R5：2件 R6：2件			評価	A
推進上の課題		・子育て世代が必要とする住宅支援策の把握 ・村内の子育て世代に対する村の住宅施策への満足度向上 ・子育て世代の移住者へのアプローチ			方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		本補助金の活用実績は、鮫川村出身者がほとんどであり、移住者が活用した実績は1件のみとなっている。 ・関係人口創出事業との連携による、移住者層へのアプローチの実施 ・本事業を活用した子育て世代への聞き取り調査				

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	人の流れをつくる	施策主管課	作成日	R7. 3. 6
主要施策	「つながり」を活かす村づくり	村づくり推進室	作成係	

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
地域活性化起業人や地域力創造アドバイザーの導入	3	3	地域活性化起業人や想像力アドバイザーを継続したうえで、地域外の主体も巻き込みながら、村の施策を連携して取組む

■R7の取組内容

⑨	官民連携の強化	担当課	村づくり推進室	記入係			
地方自治体の官民連携が推奨されています。村でも地域活性化起業人や地域力創造アドバイザーの導入などから、さまざまな民間企業とのつながりを波及させ、協働での事業展開なども検討していきます。本村の社会問題を積極的にオープンにしつつ、国・地方公共団体・企業・大学・スタートアップ企業・金融機関など多様な主体が、地域外の主体も巻き込みながら、連携して取組を推進します。							
村づくりの方向性と分野を記入すること							
村づくりの方向性		地産地消と地域循環で稼げる村づくり		村づくりの分野			
				関係人口の創造			
予算項目を記入							
章	6	農林水産業費	節	2	林業費		
				項	1		
					林業総務費		
				事業	8		
					地域おこし協力隊事業費		
章	6	農林水産業費	節	1	農業費		
				項	7		
					農村振興費		
				事業	3		
					地域活性化起業人事業費		
章	6	農林水産業費	節	1	農業費		
				項	2		
					農業総務費		
				事業	6		
					大学連携試験研究施設管理費		
取組の成果						評価	B
推進上の課題						方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等							

■これまでの取組み

⑥	商工業経営の安定化の促進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係			
・ 商工業経営の安定化、経営基盤の強化に向け、各種融資制度の周知と活用促進に努めます。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	2 商工業経営の安定化の推進	事業	商工業経営合理化支援事業	
章		節		項		事業		
取組の成果		融資を受けた商工業者の実績はなかった					評価	C
推進上の課題		制度周知、情報発信					方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		引続き商工会と連携しながら、制度周知の情報発信を行う						

⑤	大学等連携事業	担当課	教育課	記入係	生涯学習係			
・施策の目的別に連携する大学を選定していき、課題解決に見合った取り組みを行っていきます。								
第４次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章		節		項		事業		
章		節		項		事業		
取組の成果		学校側のニーズとマッチせず事業実施に至らなかった					評価	C
推進上の課題		村の魅力、可能性を小中学校と大学生で考える機会を作る。大学と学校との調整役、コーディネーターが必要					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		オンラインの活用や、鯨川村出身の大学生と小中学生の交流を図る。長期休業中の学習支援協力なども検討する。						

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	人の流れをつくる	施策主管課	作成日	R7. 3. 6
主要施策	「つながり」を活かす村づくり	村づくり推進室	作成係	

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
関係人口創出アプリの登録者	500	0	関係人口の創出は重要な施策であるが、定量できるコンテンツとしてアプリの登録者とした

■R7の取組内容

⑩	体験活動の創出と オンライン関係人口の創出・拡大	担当課	村づくり推進室	記入係							
関係人口創出コーディネーターを配置し事業の展開と体験活動の掘り下げを実施していきます。 同時に関係人口創出アプリなどを活用し、関係人口の拡大と助け合いネットワークの実現を図ります。都市部住民がチャレンジできる場として、本村を位置付けるなど、関係人口として地域への関りを深化させていくことで、都市部のキャリアアップ、更には地域の付加価値創出にもつなげていきます。 草刈り応援隊の養成促進など、そこを「関係人口創出の入口」として、本村への人の流れを創出します。草刈り応援隊の活動を動画配信するなど、各種イベントのハイブリット開催を検討しながら、カジュアルに都会の人が地方と関わるきっかけづくりを推進します。 同時に、関係人口創出アプリでは、動向調査を実施。これからの施策は、これらのエビデンスに基づいた事業展開を行えるように進めます。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		地産地消と地域循環で稼げる村づくり		村づくりの分野	関係人口の創造						
予算項目を記入											
章	2	総務費	節	1	総務管理費	項	6	企画費	事業	6	地方創生推進事業費
章											
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等											

■これまでの取り組み

①	移住情報発信・移住者支援	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係		
・村への UI ター ンを働きかけるホームページを作成したり、都内の UI ターンイベントに出展するなどし、村での暮らしを包括的に紹介します。 ・地域おこし協力隊の活用を念頭に移住コーディネーターを設置し、移住希望者や移住者の総合的支援を行います。							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	事業	移住コーディネーターの設置事業
章		節		項		事業	
取組の成果		・関係人口創出が移住定住に繋がることから、関係人口創出コーディネーターを2名とした。 ・移住希望者向けのホームページにおけるアクセス数は前年同期間（4月～2月）と比較して大幅に減少したため、魅力的な情報への定期的な更新が必要。 ・東京で開催された移住セミナーへ出展し、個別ブースへの来客は「ふくしまくらし&しごとフェア：4組」だった。昨年度参加した「ふるさと回帰フェア」については、今年度不参加とした。 ・東白川郡4町村移住セミナーについて、開催を予定していたが、参加者が0名であったため、中止とした。 ・保育園留学を実施、4組の家族が保育園留学を体験。				評価	A
推進上の課題		・長期的視点に立った移住者の確保。 ・移住希望者と村民の交流機会の創出。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		関係人口創出コーディネーターが主催するイベントの開催などを通じて村とそこに住む人を知ってもらい、移住への糸口をつくる取組を行ってきたが、関係人口創出コーディネーターが毎日対応しないと促進できないため、令和7年度は委託業務量を増やして、活動時間の確保をしていく必要がある。					

②	短期移住体験プログラム	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係			
・ 夏季休暇などを利用し村に滞在し、地域の暮らしを体験するプログラムを農家民宿等と連携して検討します。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	事業	移住コーディネーターの設置事業	
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	事業	移住支援策の強化	
取組の成果		令和5年度に関係人口創出コーディネーターを配置できたため、毎月村の外と中を結ぶ「イベント」を実施することができた。 保育園留学が始まり、さめがわエンジョイ体験メニューを整備し、鮫川村の「ディープ」な体験ができる機会を創出した。					評価	A
推進上の課題		・ 農家民宿との連携 ・ 山王の里が利用できない状況なので、2週間程度の滞在を受け入れる交流施設の確保が課題					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		・ 関係人口創出コーディネーターが主催するイベントの開催などを通じて村とそこに住む人を知ってもらい、移住への糸口をつくる。 ・ 農家民宿や簡易宿泊所をもっとPRし、お試し移住ができるようなシステムの構築が急務である。						

④	賑わいを促進するためのイベント開催	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係			
・特産品を販売したり、季節性のあるイベントを定期的を開催し、村内外から人を集め、常に賑わいのあるエリアとしていきます。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 観光・交流資源の整備充実及び有効活用	事業	若者向けのイベントの創出	
章		節		項		事業		
取組の成果		さめがわむらぶ会員を対象としたイベントを計2回実施し、村外から多数の参加があり、参加者と村民の交流により鮫川村にさらに興味を持ってもらうきっかけとすることができた。 ①7/20さめがわ村を味わう会：参加者20名 ②10/27ガストロノミーウォーキング：参加者40名 ※鮫クリエイター主催のロゲイニングイベントと同時開催					評価	A
推進上の課題		イベント企画及び開催する地域団体の育成					方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		人材育成事業では、中心地域にスポットをあてた活動を行っていきたい。その中で、情報発信力の強化と地域リーダーの育成や団体の設立を図る。さめがわむらぶ内にて各種イベントの開催情報について、発信を行うことで、村内外からの参加を促す。						

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「こどもがまんなか」を実現する村づくり	農林商工課	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
こども家庭センターの設置	1	0	子育て包括支援センターを拡充し、こども家庭センターを設置し、子育てしやすい環境の充実化を図るため

■ R7の取組内容

⑪	結婚・出産・子育ての支援	担当課	住民福祉課	記入係							
(福祉分野) 「こども・子育て支援新制度」に基づき、地域子育て支援拠点事業を充実させ、子育てに対する負担感や不安を軽減し、公共施設等の地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等の場の提供を図ります。各種預かりサービスを通じて多様化する保育ニーズに応えます。 また全ての妊産婦・子育て世帯・こどもに対する切れ目のない、包括的な相談支援体制を整備するため、「こども家庭センター」の設置を検討します。 安全・安心に妊娠・出産ができ、妊産婦本人の居住地にかかわらず、適切な医療や保健サービスが受けられる環境と、関係者が連携して妊産婦の希望に寄り添いながら、継続的な支援を行う体制の整備を図るとともに、電子母子健康手帳や医療相談アプリの導入等の母子保健事業におけるデジタル化の促進に努めます。 医療費助成など保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、オンライン相談なども充実させ、いつでも気軽に相談できる体制を整えるとともに、児童虐待の早期発見、防止などに取組み、支援が必要なこどもと家庭を支えます。ふるさと鮫川村で子育てしたい人を支援していきます。 妊娠・出産・子育てに関わる地域ごとの課題を明確化し、それに応じたオーダーメイド型の取組みを分野横断的に展開する「地域アプローチ」による少子化対策の推進について、地域特性の見える化から具体的取組みを始めます。 (教育分野) 子育てや教育にかかる費用負担の軽減を図るため、幼児教育・保育の無償化や低所得者世帯に対する就学支援を引き続き実施するほか、入学祝金や高校生通学支援金など村独自のきめ細やかな支援を進めていきます。保育ICTシステムを導入し、保育教諭の業務負担の軽減を図りつつ、保護者との連絡体制を充実させます。 放課後児童クラブの充実や、地域住民の交流の場を整備することにより、保護者が働きやすい環境を整備します。 また、小中学校におけるデュアルスクールの導入や未就学児をこどもセンターで受け入れることで、都市部の子育て世代が村に短中期間滞在できるような環境を整え関係者の多様な生き方を後押しするとともに、村においても年々減少していくこどもたちが一定程度の集団として教育を受けられるような環境を整えていくことで、村の子育て世代の不安を軽減し、若い世代が住みたい・住み続けたい・住み続けられる村となる「こどもまんなか社会」の実現に向けて進んでいきます。 (むらづくり部門) AIやビックデータを活用したマッチングシステムの運営などの結婚支援に取り組めます。 「ふれあいの場」では、さまざまな方のふれあいが行われるような事業を推進していきます。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		健やかな人をみんなで育むむらづくり		村づくりの分野							
				子育て支援							
予算項目を記入											
章	3	民生費	節	2	児童福祉費	項	1	児童福祉総務費	事業	3	少子化対策事業費
章	4	衛生費	節	1	保健衛生費	項	1	保健衛生総務費	事業	3	乳幼児・妊産婦医療費助成事業費
章	2	総務費	節	1	総務管理費	項	6	企画費	事業	14	後継者結婚対策費
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組み

①	子育て支援事業の充実	担当課等	こどもセンター				
各種預かりサービスを通じて多様化する保育ニーズに応えます。							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	2 保育サービスの充実	事業	
章		節		項		事業	
取組の成果		保育アンケート満足度調査実施中。 やまゆり保育・乳児室対象者8名中、参加申込4名参加（月一回実施）、預かり保育、一時預かり保育申し込み5人、保育園留学5人受入。東京都小竹向原にあるま ちの保育園に保育研修を計2回実施。				評価	B
推進上の課題		職員の資質向上につながる研修の実施 施設、遊具等の安全対策の実施				方向性	維持
新たな取組や 見直しの方向等		まちの保育園で学んだ保育運営、事務、保育業務の取り組みを積極的に取り入れて 行きたい。					

①	子育て支援事業の充実	担当課	教育課	記入係	生涯学習係		
・子育て支援拠点事業を充実させ、子育てに対する負担感や不安を軽減します。 ・放課後児童クラブを充実させ、保護者が働きやすい環境を整備します。 特に少子化や核家族化が進み、児童クラブに預ける家庭が増えているため、子育て支援の充実を図るためにも、指導者の確保に努める。							
第４次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	1 子育て支援拠点事業の充実	事業	
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	3 放課後児童クラブの充実	事業	放課後児童クラブ事業
取組の成果		待機児童無しで、利用されている。 令和６年度実績 定員30名 利用者32名 指導員の確保に取り組み、９月から１名増員した。				評価	A
推進上の課題		指導員を１名増員し、４名になったが、子どもの多様化、指導員の高齢化などが懸念される。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		長期休暇中は、小学校の学習支援員の児童クラブへの配置を継続する。引き続き児童の安全を確保し運営したい。					

②	支援が必要な子どもと家庭への対応	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係		
・医療費助成など保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童虐待の早期発見、防止などに取り組み、支援が必要な子どもと家庭を支えます。							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	事業	
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	5 支援が必要な子どもと家庭への対応	事業	
取組の成果		・子ども医療費やひとり親家庭医療費の助成を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図った。 ・要保護児童対策協議会での実務会議では、関係機関を参集し、支援が必要な家庭の情報を共有し、虐待の未然防止や早期発見、支援が必要な家庭への支援方法などの共通認識を図った。 ・こども家庭センター設置に向けて、児童福祉・母子健康担当者間で検討を重ねた。県主催の研修会に出席し、県担当者との話し合いも重ねた。 ・国が定めた「子ども大綱」に則り「鮫川村こども・子育て計画（R7～R11）」を策定した。				評価	B
推進上の課題		こども家庭センターの設置を検討し、児童福祉・母子健康の双方から切れ目ない支援体制を整えていく必要がある。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		こども家庭センターの設置に向けた検討					

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「こどもがまんなか」を実現する村づくり	農林商工課	作成係	-

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
憩いの場づくり	1	0	住民丸ごと憩いの場を整備し、住民コミュニティの活性化を図るため

■R7の取組内容

⑫	住民丸ごと憩いの場づくりの推進	担当課	住民福祉課	記入係						
村民が気兼ねなく集まる場は、各世代にメリットが生まれると考えます。働く子育て世代は、近くに子育て仲間がいない地域もあり、悩み事や気になることを気軽に相談できる相手を見つけることが難しい時もあります。子どもたちが集まる場には自然と保護者も集まるので、横のつながりが生まれます。 そのような場所にリタイアした大人が子育てに参加してくれることで頼れる味方も増え、地域全体で子育てできる環境が創出できます。高齢者は子どものいるコミュニティに出かける目的ができたので、外出機会が増え生活にはりがでると考えます。さらに村では病児保育の体制を整えたいと考えています。 このプラットフォームで、村の子どもたちは、勉強だけでなく生きる知恵を学び、鮫川村でしか得られない経験をして大人になります。人口減少は避けられませんが、集える場ができたことで村全体がひとつになっていきます。村全体で子育てできる基盤を整えます。										
村づくりの方向性と分野を記入すること										
村づくりの方向性		いきいき健康で暮らせるむらづくり		村づくりの分野	地域コミュニティの強化					
予算項目を記入										
章			節		項			事業		
章			節		項			事業		
取組の成果									評価	A
推進上の課題									方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等										

■これまでの取組み

⑦	情報交流の場づくり	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係
・新商品の開発や新たな事業立ち上げなどへの意見交換、地域振興のための情報交換会、勉強会、アイデアなど自由に言いあえる環境を整えます。また、それらに対応できるコーディネーター等を配置し、稼ぐ人・稼ぐ力を地域で組織的に育成する基盤を整備します。					
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。					
章		節		項	
章		節		項	
取組の成果		実績なし			評価
					B
推進上の課題		地域で組織的に育成する基盤の整備			方向性
					維持
新たな取組や見直しの方向等		新商品の開発は、手まめ館等が担当だと思います。 コーディネーター等の配置も村づくり推進室で行っており、業務が重複しています、			

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「こどもがまんなか」を実現する村づくり	農林商工課	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
教育ICT学習支援員の導入	3 (幼小中学校各所1名)	1 (小中学校で1名)	ICT学習支援員を導入し、これからのデジタル教育の支援を図る

■ R7の取組内容

⑬	こどもを中心とする学習・教育環境の充実とDX推進	担当課	村づくり推進室	記入係							
こどもたちの教育の質を向上させるため、学校における1人1台端末環境の持続的な活用やネットワーク環境の改善を進めるとともに、1人1台端末を用いた効果的な実践例の創出・横展開、円滑な運用の支援とそれに向けた学校・教育委員会の体制強化、デジタル教科書・教材の活用、児童生徒が学校や家庭において学習やアセスメントができるCBTシステムであるMEXCBT（メクビット）の活用、校務DXの推進等により、GIGAスクール構想を環境整備から利活用促進に進めていきます。あわせて、GIGAスクール構想の第2期を見据え、端末の計画的な更新を行います。 こうした取り組みを通じて、教育の機会均等、学校における働き方改革、個別最適な学び等の観点から、都市部と地方の隔たりなく、誰一人取り残すことのない教育を実現します。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		健やかな人をみんなで育むむらづくり		村づくりの分野	教育環境の充実						
予算項目を記入											
章	10	教育費	節	2	小学校費	項	2	教育振興費	事業	1	教育活動費
章	10	教育費	節	3	中学校費	項	2	教育振興費	事業	1	教育活動費
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等											

■ これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：										
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「こどもがまんなか」を実現する村づくり	農林商工課	作成係	-

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
地域学校協働本部会議	5	3	地域学校協働本部会議を充実させ、ふるさとキャリア教育の充実を図る

■R7の取組内容

⑭	ふるさとキャリア教育の推進				担当課	教育課	記入係				
ふるさと鮫川を愛し、誇りに思うこどもたちの育成に努めます。 こどもたちは、村の地域資源を活用した遊びの中で、特に昆虫観察アプリなどを通して生き物を記録することで、鮫川村への郷土愛や自然保護の重要性を学んでいきます。このアプリを通して鮫川村の豊かな自然環境は全世界に発信され、関係人口創出にもつながります。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		健やかな人をみんなで育むむらづくり			村づくりの分野		教育環境の充実				
予算項目を記入											
章	10	教育費	節	5	社会教育費	項	1	社会教育総務費	事業	2	生涯学習事業費
章			節			項			事業		
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組み

③	村の特性を生かす特色ある教育（ふるさとキャリア教育）の推進	担当課	教育課	記入係	生涯学習係		
・ふるさと鮫川を愛し、誇りに思う心を育むとともに、自分の将来の夢に向かってたゆまぬ努力を続ける心を育みます。							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	4 人と文化が輝くふるさと鮫川	節	2 学校教育	項	5 村の特性を生かす特色ある教育（ふるさとキャリア教育）の推進	事業	
章		節		項		事業	
取組の成果		・学校教育において、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を系統的に学ぶ『さめがわ学』を実施した。 ・ふるさとへの誇りと愛着心を育むことができた。 ・小学校ではさめっ子フェスティバル、中学校では壇の岡祭で環境学習や生活学習等の取組を発表した。R5に学校運営協議会・地域学校協働連携本部を設置。学校を核とした地域づくりの体制づくりを行った。				評価	B
推進上の課題		地域人材の高齢化が問題となるため後継者の育成が急務。学校（教育課程）との日程調整(実施時期、天候も含め)、コーディネーターの育成が課題。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		R7小学生、中学生の村への愛着度アンケート、さめがわ学への満足度アンケートを実施する。また、地域学校協働連携本部を設置することが急務である。					

①	買い物弱者支援施設運営支援	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係			
・「村民の店 すまいる」の運営費用の一部について、運営主体の村商工会に助成します。								
第４次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	事業	商工会が実施する商店等の維持活動に対する助成	
章		節		項		事業		
取組の成果		運営費用の一部を助成					評価	B
推進上の課題		従業員の確保とそれに係る人件費の確保。運営主体の自立した経営					方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		継続して運営費用の一部を助成し、自立した経営を協議していく						

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「こどもがまんなか」を実現する村づくり	農林商工課	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
村内産食材自給率	50%	36%	日本の食糧自給率と比較しても上回る数値設定とする

■ R7の取組内容

⑮	学校給食の充実とミールキットの製造	担当課	農林商工課	記入係							
鮫川村の学校給食は、積極的に地元産農産物を使用しており、児童生徒、教職員から美味しいと好評です。特に教職員からは、「福島県で1番美味しい給食」と評判です。 また、使用する地元産農産物は「こどもたちのために」できる限り農薬等を使用しない栽培を心掛けて作られています。さらに、鮫川村学校給食センターは全国学校給食甲子園の連続出場、受賞の実績があり、このことがこどもたちの学校給食、地元の農産物、鮫川村に対して誇りをもつことにつながっています											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		地産地消と地域循環で稼げる村づくり		村づくりの分野	農林業 商工業と雇用対策						
予算項目を記入											
章	6	農林水産業	節	1	農業費	項	3	農業振興費	事業	1	農業振興対策費
章			節			項			事業		
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等											

■ これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：		
取組の成果		評価	B
推進上の課題		方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等			

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
草刈り応援隊員数	70	23	令和5年度より実施している草刈り応援隊育成事業は、これからの担い手になる可能性を秘めているため

■R7の取組内容

⑬	地域コミュニティと景観の維持	担当課	村づくり推進室	記入係							
人口減少や高齢化等により地域の担い手が不足することに伴い、地域コミュニティの活力が低下し、災害や感染症の発生時、土地の維持管理などにいかされていた地域の経済・社会のバックアップ機能が失われつつあります。まずは担い手不足を解消するため、関係人口を活用した地域景観維持活動をこまめに実施していきます。 また、村の様々な地域で行われてきたお祭りは人口減少により、広域統合の話も見据える必要があります。お祭りのつながりは地域間の横のつながりを強くする傾向があります。古き良き伝統を、持続可能なやり方で、地域間交流を含めた人と人の結びつきを、伝統・文化の継承により強固な結びつきにしようと考えています。村では今あるお祭りや行われていた行事を継続することで、地域コミュニティが今後も維持できるよう支援します。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		地産地消と地域循環で稼げる村づくり 心豊かな生活が送れるむらづくり		村づくりの分野	関係人口の創造 自然・環境保全・土地利用						
予算項目を記入											
章	2	総務費	節	1	総務管理費	項	6	企画費	事業	6	地方創生推進事業費
章			節			項			事業		
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	維持
新たな取組や 見直しの方向等											

■これまでの取組み

②	生活支援ニーズに対応した雇用の創出	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係			
・草刈作業のほか、雪かきなどを担い、暮らしの中の人手不足の需要も束ねて新たなサービスを創出します。 ・農業半分・他の仕事を半分というように、現代版百姓を志望する人たちへ、仕事紹介などを通じて支援します。								
第４次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	3 施設管理組織等の育成	事業	振興公社、環境公社の立ち上げの検討	
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	1 農業生産基盤の充実	事業	中山間地域等直接支払交付金事業・多面的機能支払交付金事業	
取組の成果		・美活動刈上げ鮫（ジョーズ）事業により草刈り応援隊を養成 全４回の刈払い機講習会を開催し、うち１回は村内外の人との交流イベントも開催した。 ・そのほか、県の事業を村内で実施し、「剪定」作業もおこなった。 ・受託業者自らが県事業と連携し、イベントを４回ほど実施。全県内に活動が知れ渡っている状況が伺えた。					評価	A
推進上の課題		・美活動刈上げ鮫（ジョーズ）事業の認知度向上 ・田舎の労働を楽しみに変える価値転換の醸成					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		・関係人口創出アプリとの連動による事業の更なる波及 ・アプリ離れが起きないように、定期的なシステム更新が必要を感じている。次年度はアプリの充実化を図り、ゲーム性なども取り入れたシステム改修を実施していきたい。 ・モデル地域・モデル事例を作る						

③	温泉施設、公園など文教施設などの周辺環境整備	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・公園を中心とした面的整備に取り組みます。また、その延長として周辺の環境整備にも取り組み、地域資源の有効活用を目指します。						
第４次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 観光客への情報提供と事業所への働きかけの推進	
取組の成果	公園内の維持管理業務を鮫川村シルバー人材を活用し、環境整備を行った。				評価	B
推進上の課題	・維持管理団体の高齢化と会員減少 ・有償ボランティアの活用も含めた管理体制の構築				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	草刈り応援隊の活用及び有償ボランティアの募集					

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
地域通貨を活用したコミュニティ活性化事業	5	0	地域通貨を活用し、新たな人材を掘り起こすきっかけとし、コミュニティ活性化を促すため

■R7の取組内容

⑰	地域包括ケアシステムの強化	担当課	住民福祉課	記入係							
福祉事業の根幹は村民の生活の基礎を守ることだと考えています。高齢者デイサービスや障がい者の支援など、これまで村のサービス維持を優先する一方で、今後の高齢社会への対応として、地域内の共助体制「結」を支援する仕組みづくりを推進したいと考えています。 2025年には認知症高齢者数は、高齢者の約5人に1人になると言われています。地域内の共助体制「地域の見守りなどの機能」を維持することにより、認知症の進行を遅延させていきます。 さらに、シェアリングエコノミーの考え方に基づく取組を進めることにより、地域資源の有効活用を図ることが可能になると考えます。こうした取組を横展開することにより、限られたリソースの中で地域の結びつきをより強めていくことで、行政サービスだけに頼らない村づくりを進めます。これは、いつまでも住みやすい村づくりにシフトした考えです。その中で、デジタルの力を活用して地域の共助の取組など目に見えない価値を拾い上げ、地域通貨などによる地域のコミュニティの活性化に取り組む地域も支援していきます。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		いきいき健康で暮らせるむらづくり		村づくりの分野	保健・医療 高齢者・障がい者・地域福祉						
予算項目を記入											
章	3	民生費	節	1	社会福祉費	項	4	介護保険事務費	事業	1	介護保険事業費
章	3	民生費	節	1	社会福祉費	項	2	老人福祉費	事業	4	一般高齢者支援事業費
章	3	民生費	節	1	社会福祉費	項	2	老人福祉費	事業	5	高齢者生活支援事業費
取組の成果										評価	A
推進上の課題										方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組み

②	地域交流の推進と自助・共助の芽生えを支援	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係		
・ 地域の高齢者が楽しく集える居場所として、地域ふれあいサロンの充実を促進します。							
第 4 次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	5 地域福祉	項	3 地域全体で支え合う活動の促進	事業	
取組の成果		筋力づくり教室や地域ふれあいサロン等介護予防事業に携わる地域福祉人材を 2 人（シナプソロジー指導員）育成し、高齢者の居場所づくりを後押ししている。				評価	A
推進上の課題		高齢化の進行にあわせ増加が見込まれる独居高齢者や高齢者のみ世帯の方々が、社会参加しやすい環境の整備やその運営主体となる地域福祉人材への、継続的な支援が課題である。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		・ 筋力づくり教室や地域ふれあいサロンの継続、新規参加の啓発を行い、高齢者の居場所づくりの充実を促進させるとともに、その運営主体となる地域福祉人材の育成や支援を継続的に実施する。 ・ 筋力づくり教室に「来てもらう」から「こちらから出向く」形も検討し参加者増加を目指す。					

⑤	大学等連携事業	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係			
・ 施策の目的別に連携する大学を選定していき、課題解決に見合った取り組みを行っていきます。								
第 4 次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章		節		項		事業		
章		節		項		事業		
取組の成果		医療創生大学国際看護学部（千葉県）の学生と村内 6 件の独居高齢者が年間を通し定期的に社会交流することができた。					評価	B
推進上の課題		今回の大学側の研究は今年度で一段落となり、今後の継続した交流が可能かどうか不明。					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		今後の活動方針について村地域包括支援センター含め検討。						

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
買い物弱者などの把握（地域包括支援センターとの連携会議）	年4回	年4回	安心して暮らせる村づくりを推進するため、今後も地域包括支援センターとの連携を強化する

■R7の取組内容

⑱	買い物弱者への支援の強化	担当課	住民福祉課	記入係	
買い物困難者など、日常生活の不便を強いられる人々のいる地域も顕在化し、移動販売車による移動販売や高齢者等の移動手段の確保による、買い物支援やお出かけ支援を行います。 また、移動販売車等への行政のデジタル端末設置による多機能化を含め（オンライン診療など、デジタルの活用による地域の高齢者の見守り、スマートフォン等を介した交流の場の提供、土地利用・管理DXの実装や、公民館・図書館などの社会教育施設の活用促進）、多様な組織や主体がデジタル技術も活用して効果的に連携し、地域における必要なサービスの提供・地域コミュニティの補完的な取組みで、安心して暮らせる村づくりを進めます。					
村づくりの方向性と分野を記入すること					
村づくりの方向性		いきいき健康で暮らせるむらづくり		村づくりの分野	
				高齢者・障がい者・地域福祉	
予算項目を記入					
章	7	商工費	節	1	商工費
章			節		
取組の成果					評価
					B
推進上の課題					方向性
					維持
新たな取組や見直しの方向等					

■これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：			
取組の成果				評価
				B
推進上の課題				方向性
				拡大
新たな取組や見直しの方向等				

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7. 3. 6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
総合教育会議の実施	5	2	村が目指すこども像を共有するため、総合教育会議を実施していく

■ R7の取組内容

⑬	つなぐ教育を実現する 幼保小中連携の推進	担当課	教育課	記入係							
幼保、小中学校の系統性を重視した「つなぐ教育」を推進しながら、村が目指すこども像を共有し、小中学校の9年間に通じた一貫教育による魅力のある学校、通わせたい学校を創造するため、義務教育学校設立に向けた検討を進めます。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		健やかな人をみんなで育むむらづくり		村づくりの分野	教育環境の充実						
予算項目を記入											
章	10	教育費	節	1	教育総務費	項	2	事務局費	事業	6	義務教育体制整備事業費
章			節			項			事業		
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等											

■これまでの取組み

①	賑わいの核となる公園整備		担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係				
・村の中心部に集客の象徴として、子どもをはじめ老若男女が集える音楽イベントやマルシェも可能な広場がある多目的公園機能を整備します。										
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。										
章	1	きれいで安全なふるさと鮫川	節	4	公園・緑地、緑化	項	1	公園・緑地の管理体制の充実	事業	
章			節			項			事業	
取組の成果		・鮫川村幼保小中学校検討委員会での義務教育学校（複合施設）に関する検討。 ・修明高校鮫川校の跡地利用に関する県を交えた協議							評価	C
推進上の課題		日常的な賑わいを創出するために最適な公園の配置と横断的な検討及び財源の確保							方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		令和7年度住民ワークショップを開催する中で、参加者からの意見を伺う。防災機能を持った公園など、日常だけでなく、有事の際にも機能を発揮できる公園のあり方を検討したい。								

①	賑わいの核となる公園整備	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係		
・村の中心部に集客の象徴として、子どもをはじめ老若男女が集える音楽イベントやマルシェも可能な広場がある多目的公園機能を整備します。							
第４次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	1 きれいで安全なふるさと鮫川	節	4 公園・緑地、緑化	項	2 公園・緑地の整備事業	事業	
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	4 情報発信の強化	事業	
取組の成果		若者未来創出会議メンバーが主体となり、子どもから大人まで楽しめるロゲイニングイベントを開催した（実施：村づくり推進室）。				評価	B
推進上の課題		イベントなどが開催できる広場の整備に向けた検討。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		景観形成活動を行い、村に賑わいに関りを持つ人を増やしていく 景観形成活動に参加する人数を20%増やすため、SNSを活用して情報発信する。					

③	温泉施設、公園など文教施設などの周辺環境整備	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係		
・公園を中心とした面的整備に取り組みます。また、その延長として周辺の環境整備にも取り組み、地域資源の有効活用を目指します。							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 求人情報の提供と事業所への働きかけの推進	事業	
章		節		項		事業	
取組の成果		令和5年度に住民ワークショップやアンケートを実施した。				評価	C
推進上の課題		今後、総合的な整備方針など、ハード面ばかりでなく、共助を含めて検討。 また、小中一貫校義務教育学校の整備と一緒に整備に向けた検討を実施したい。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		令和7年度の住民ワークショップで意見があがれば、住民を交えた周辺整備が可能ではないか。住民が望む形を実現していきたい。					

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
公民館利用者数	6,000	5,300	生涯学習の推進と生涯現役者数の把握として公民館利用者数の増加を目指すため

■ R7の取組内容

②0	生涯学習の推進と環境整備	担当課	教育課	記入係							
地域の資源や人材が限られている中で、活気があふれ、ぬくもりのある地域をつくるためには、性別や年齢、障害の有無等を問わず、一人ひとりが個性と多様性を尊重され、それぞれの希望に応じて自らの持つ能力を発揮し、生きがいを感じながら暮らすことができる地域コミュニティの実現が不可欠です。 そのため、女性、若者、高齢者、障がい者など、誰もが居場所と役割を持って活躍できるコミュニティづくりとして、「交流・居場所」、「活躍・仕事」、「住まい」、「健康」、「人の流れ」といった観点で横断的かつ一体的な地域の取組を支援する全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」について、アプリを活用して地域住民の健康増進と交流機会の拡充を行う健康ポイント事業、子育て中の女性が育児と両立しながら働ける環境づくりと人手不足で悩む地元企業との交流をオンライン上で一体的に行うワークシェアリング事業など、継続性のある取り組みを推進します。 生きがいを持っている高齢者は若い人たちにもとても魅力的に見えます。そういった高齢者を増やすことを目的に、公民館で行われる生涯学習講座は、住民が主役となる活発な活動を支援します。また、日々の外出機会が増えることで健康寿命の延伸も図ります。広域連携が今後の過疎地域には必須になってくると考えています。地元の人材も減少していくなか、近隣町村との連携を強化しながら村内だけでなく、公民館事業などで他町村での活動機会が増え、ますます住民の活躍の場が増えると考えています。こういった小さな活動から広域連携を強化していきます。 村民の自主的な活動が増えることで、地域活動団体も増え、村民主体の村づくりが進んでくると、鮫川村を愛する村民が、自分のできることで、地域で活躍することで、自分たちの村を自分たちで守るという意識の醸成ができると考えています。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		健やかな人をみんなで育むむらづくり		村づくりの分野	生涯学習・スポーツ 歴史・文化芸術・文化財						
予算項目を記入											
章	10	教育費	節	5	社会教育費	項	2	公民館費	事業	1	公民館活動費
章			節			項			事業		
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組み

①	地域福祉を推進する、多様な担い手づくり	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係			
社会福祉協議会や民生児童委員協議会等と連携しながら、各種福祉団体、福祉ボランティア団体、NPO等の育成・支援を行い、地域福祉を推進する多様な担い手づくりを進めます。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	5 地域福祉	項	2 地域福祉の担い手の育成・確保	事業		
章		節		項		事業		
取組の成果		社会福祉協議会を通して、現在活動している福祉団体の支援や新たな団体の設立支援等を行っている。					評価	B
推進上の課題		地域福祉を推進する担い手の高齢化が進んでいる。現存している団体の新たな担い手の確保が必要であるが、人口減少や労働者の高齢化などにより世代継承が進んでいない（現会員：日赤会員50人、老人クラブ会員325人）。					方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等		現存する福祉団体の運営継続に向けて引き続き支援を行い新たな会員確保に努める（目標：日赤会員5人、老人クラブ会員10人）。						

③	生涯学習推進体制の充実	担当課	教育課	記入係	生涯学習係		
・子どもから高齢者までが、興味と関心をもって積極的に参加できる学習や体験の機会を提供するとともに、学習施設の整備に努めるなど、生涯学習体制の充実を図ります。							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	4 人と文化が輝く ふるさと鮫川	節	1 生涯学習	項	1 生涯学習推進体制の充実	事業	
章		節		項		事業	
取組の成果		生涯学習計画と年間計画を作成し、歴史、文化、社会教育、社会体育を推進した。文化祭、主張大会、成人式、スポーツ大会等の行事を積極的に実施した。				評価	B
推進上の課題		公民館、歴史民俗資料館の施設整備を図り、村民に足を運んでもらえる企画の検討を積極的に行う。高齢化、生活様式の多様化により年々参加者減少が心配されるが、引き続き継続していく。				方向性	維持
新たな取組や 見直しの方向等		歴史民俗資料館の展示内容の定期的な変更を行う。 次年度は生涯学習アンケートを実施し、村民の要望、満足度を調査する。					

④	ニーズに応じた特色ある講座・教室の運営	担当課	教育課	記入係	生涯学習係		
・子育てや家庭生活、体験活動などニーズに応じた特色ある講座・教室の運営を行います。							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	4 人と文化が輝く ふるさと鮫川	節	1 生涯学習	項	2 ニーズに応じた特色 ある講座・教室の運営	事業	
章		節		項		事業	
取組の成果		チラシを年3回配布し、公民館事業の見える化を実施した。特色ある講座として、スイミング教室、絵画教室、竹灯籠づくり教室、苔玉づくり教室、剪定教室、味噌づくり教室、スキー教室などを実施した。新規事業や継続事業の充実を図り新たな参加者が増加した。また、定期的に教育ポータルサイトへ掲載することで周知が図られた。				評価	A
推進上の課題		小中学生対象や親子で参加できる教室を積極的に取り入れたが、若い世代の参加者をいかに募るか再度検討する必要がある。チャレンジスクール（小学生対象）では参加者が5年度よりも3倍に増えた。子ども達がさらに体験できる場を増やしていきたい。また、公民館講座を足掛かりとしつつ、自主的な活動に移行できるよう、参加者の自立を促していきたい。				方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等		公民館事業のさらなる充実を図る。子育て世代が参加でき、学べる環境づくり。教育ポータルサイト、SNSを活用し、公民館事業を発信する。また、世代別講座など新しい講座を企画する。					

36

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
地域医療検討会	2	0	地域医療を検討する場を設け、地域のオーダーにあった体制の構築に向けて検討会を実施する

■ R7の取組内容

②1	医療・介護分野DX	担当課	住民福祉課	記入係							
オンライン診療の整備や、宅配医療の体制づくりは今後の過疎地医療において推進していく分野です。また、深刻な介護人材不足などの状況を緩和するため、本村でも検討を重ね、導入できるところと出来ない分野をしっかりと棲み分けて実施します。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		いきいき健康で暮らせるむらづくり		村づくりの分野	保健・医療						
予算項目を記入											
章	3	民生費	節	1	社会福祉費	項	3	後期高齢者医療事務費	事業	1	後期高齢者医療事業費
章	3	民生費	節	1	社会福祉費	項	4	介護保険事務費	事業	1	介護保険事業費
章	3	民生費	節	1	社会福祉費	項	1	社会福祉総務費	事業	5	国民健康保険事業費
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

■ これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：		
取組の成果		評価	B
推進上の課題		方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等			

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
デマンド交通の運行	本格運行	実証運行	デマンド交通の実施により、環境にも配慮した、賑わいづくりを実施するもの

■ R7の取組内容

②②	多様な暮らし方を支える人間中心のコンパクトで緑豊かなむらづくり	担当課	村づくり推進室	記入係								
買い物や通院等に利用するための十分な移動手段やこれを支えるインフラが確保されていることも重要です。自動運転の活用場面のさらなる拡大、キャッシュレス設備の導入、運行管理システムの導入など公共交通分野に係るデジタル化や先進技術の活用を一層進めるとともに、①官と民、②交通事業者間、③他分野との「3つの共創」により、地域交通を「リ・デザイン」し、自家用車を持たない高齢者を始めとする地域住民の移動手段を確保することを可能とする多様な暮らし方を支える人間中心の村づくりを実現し、持続可能な生活をするため、コンパクトでゆとりとにぎわいのある村づくりに取り組みます。 そのため、生活サービス機能と居住を中心拠点や生活拠点に誘導し公共交通で結ぶコンパクト・プラス・ネットワークの取組及び官民の既存ストックの活用による多様な働き方・暮らし方に対応した「居心地が良く歩きたくなる」村づくりを実現します。 また、地域において様々な人を受け入れる「寛容性と多様性」を育むとともに、内外の多様な人材をひきつける魅力的な空間・拠点づくりを行い、地方におけるイノベーション創発を促進していきます。 加えて、気候変動対応、生物多様性の確保や人々のWell-being向上等に向けて、緑地の多様な機能をいかすとともに、エネルギーの効率的な利用を図るため、民間資金調達のための緑地の確保を伴う事業の客観的な評価制度の創設等まちづくりGX に取り組みます。												
村づくりの方向性と分野を記入すること												
村づくりの方向性		心豊かな生活が送れるむらづくり		村づくりの分野	公共交通・道路 自然・環境保全・土地利用							
予算項目を記入												
章	2	総務費	節	1	総務管理費	項	6	企画費	事業	4	公共交通振興費	
章	2	総務費	節	1	総務管理費	項	6	企画費	事業	10	良好な環境創出活動推進モデル事業費	
取組の成果											評価	B
推進上の課題											方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等												

■ これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：										
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
スポーツ施設予約システム 利用団体数	5	0	住民が住みやすく・活動しやすい村づくりのため、予約システムの活用により、空いた隙間時間にもスポーツが可能にできるようにする

■ R7の取組内容

②③	まちづくり、スポーツDX	担当課	教育課	記入係							
住民のニーズに合ったデジタル化とデジタルデバイド対策事業の推進を図ります。 また、スポーツ活動の施設利用予約システム整備や情報発信機能の強化などを実施し、住民が住みやすい村づくりの推進を図ります。 地方の大きな魅力として、各地域が育んできた文化や芸術、スポーツに関する活動が挙げられるため、地方の特色ある歴史や文化・スポーツ、食といった有形・無形の資産の価値を高める取組を進めます。地域の魅力的な文化財のハード・ソフト両面からの上質で思い切った活用や、文化施設のインバウンドも視野に入れた高付加価値化等を通じた文化観光の更なる推進に取り組みます。 地方の魅力を広く世界に発信し、デジタル技術の活用等による地域のにぎわいづくりを目指します。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		健やかな人をみんなで育むむらづくり		村づくりの分野	生涯学習・スポーツ						
予算項目を記入											
章	10	教育費	節	6	保健体育費	項	2	体育施設費	事業	1	体育施設管理費
章	10	教育費	節	5	社会教育費	項	3	歴史民俗資料館費	事業	1	施設管理費
章	10	教育費	節	5	社会教育費	項	4	図書館費	事業	1	活動事業費
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：		
取組の成果		評価	B
推進上の課題		方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等			

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察	
水質検査	年1回	年1回	村の環境維持を図る1つの手段として、毎年水質検査を行う	

■R7の取組内容

②4	地域資源を生かした 個性あふれる地域づくり	担当課	村づくり推進室	記入係							
本村は豊かな自然や魅力ある多彩な地域資源・文化等を有し、次の時代につなぐ価値ある拠点としての可能性を秘めています。 村づくり全体を牽引する農業の維持・発展に向け、農業生産基盤の一層の充実や担い手の育成・確保による経営体制の強化を進めながら、「まめで達者な村づくり事業」の継承とバイオマスビレッジ構想の発展等による農業の6次産業化 や地産地消の一層の展開、「有機の里づくり（オーガニックビレッジ構想）」事業の推進による有機農業の確立と循環型社会の形成をはじめ、有害鳥獣対策の推進などの取組を一体的に推進します。 また、地域内で資金が適切に循環する経済構造を確立した地域を作り出すことも重要です。地域資源を生かした脱炭素やエネルギー地産地消のための取組、気候変動への適応、資源循環等をデジタルと掛け合わせることによって、効率的に地域のエネルギー自給率を高めるほか、地域経済活性化、脱炭素化への地域経済の円滑な移行、レジリエンス の向上など、地域循環共生圏の考え方を踏まえた地域の持続可能性を高める取組みを進めます。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性	地産地消と地域循環で稼げるむらづくり	村づくりの分野	農林業								
村づくりの方向性	心豊かな生活が送れるむらづくり	村づくりの分野	農林業								
予算項目を記入											
章	4	衛生費	節	1	保健衛生費	項	4	環境衛生費	事業	4	環境整備費
章			節			項			事業		
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組み

③	森林資源の利活用	担当課	農林商工課	記入係	農林畜産係			
・埋没している森林資源及び未利用地域資源の活用の向けた可能性を探るため、森林環境譲与税等の資金を活用した、ワークショップの開催を進めます。 ・未利用の森林資源を活用するため、間伐材や未利用木材を住民から買い上げ、「さざり荘」等の薪としての活用を推進します。 ・東白川4町村広域連携による地域森林資源活用を推進します。								
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。								
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	6 計画的な森林の整備・再生	事業	森林環境保全と森林を守り育てる意識の啓発とその活動	
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	7 林業従事者の育成・森林管理体制の整備	事業	林業従事者の育成支援ほか	
取組の成果		・森林資源(未利用材)の住民から買い上げを行い、薪としての活用を図っている。					評価	B
推進上の課題		物価の高騰を受け、住民から薪の買い取り単価を上げてほしいとの要望あり。 村内の森林から薪を集める仕組みの構築と自伐林家の育成 森林環境贈与税の今後の活用方法					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等		令和7年度から薪の買い取り単価をあげる。 令和7年度に自伐林家の育成、村内森林資源の循環を目指し、地域おこし協力隊（林業関係）を募集する。 計画的な森林の整備に向けて、森林所有者へ今後の管理方針についての意向調査を進める。						

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7. 3. 6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
防災アプリ登録者数	1, 000	100	防災機能を網羅したアプリを普及させるため

■R7の取組内容

②5	防災・減災、国土強靱化の強化等による安全・安心な地域づくり	担当課	総務課	記入係							
線状降水帯による大雨など、災害が激甚化、頻発化する中で、村民の生命・財産を守り、災害による被害を最小限に止めることはとても重要です。 防災・減災、国土強靱化の取組を強化していくことが必要です。国が策定する国土強靱化基本計画において「デジタル等新技術の活用による国土強靱化施策の高度化」を新たに位置付けたことを踏まえ、本村においてもデジタル技術を最大限活用するとともに、単なるデジタル技術の活用にとどまらない防災DXの取組みにより、人々が安心して住み続けられる環境づくりにデジタル技術を生かします。具体的には、複数の地方公共団体が参画する災害対応基盤への参加のほか、災害対応現場のデジタル化を一層推進するため、デジタルツインなどの最先端技術の開発等に向けたさらなる環境の整備、高精度測位情報と地理情報システムを組み合わせた「G空間情報」を活用した統合型G空間防災・減災システムの構築など、より高度な防災情報の利活用の実現に向けた対応を推進します。 地域を支えるインフラの維持管理を着実にを行うことも安心して暮らせる地域づくりを行ううえで重要な要素です。デジタルデータの活用等を一層推進することにより、国土強靱化の一つとしてインフラの効率的なメンテナンスを実現していきます。 また、点在する避難施設の一元化や防災備蓄倉庫の整備等、防災拠点施設の整備を進めるとともに、老朽化が進む消防水利施設や防犯灯等を定期的に更新し、安心安全な村づくりを進め、有事に備えていきます。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		心豊かな生活が送れるむらづくり		村づくりの分野	消防防災・安全対策 自然・環境保全・土地利用						
予算項目を記入											
章	9	消防費	節	1	消防費	項	3	防災対策費	事業	1	一般事務費
章	9	消防費	節	1	消防費	項	3	防災対策費	事業	2	防災無線施設費
章	9	消防費	節	1	消防費	項	3	防災対策費	事業	3	防災活動費
章	9	消防費	節	1	消防費	項	3	防災対策費	事業	4	災害活動費
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：		
取組の成果		評価	B
推進上の課題		方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等			

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7.3.6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
村に愛着を持っている住民	75%	75%	5年に一度の住民アンケートで、村に愛着を持っているかアンケートを行うので定量的な統計が計測できるため

■R7の取組内容

②6	シビックプライドの醸成	担当課	村づくり推進室	記入係							
シビックプライドは、「自分が住んでいる地域に対する誇り」と定義されていますが、ここでは住民が自分たちの地域や自治体に誇りをもち、それを支え改善しようとする姿勢をあらわします。 大切なのは、その地域社会に住む一住民として、地域の発展に貢献していこうという意識で、その当事者意識こそがシビックプライドであります。こういった意識のもと取った行動により、村の人も地域外の人にとってもお互いに幸福度が向上するWin-Winの関係ができ上がっていきます。こういった視点にたてる人の育成を目指します。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		これからを支える確かな行財政運営と協働のむらづくり		村づくりの分野	協働のむらづくり						
予算項目を記入											
章	2	総務費	節	1	総務管理費	項	6	企画費	事業	2	企画振興費
章			節			項			事業		
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：										
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

総合戦略（第3期）評価シート

基本目標	魅力的な地域をつくる	施策主管課	作成日	R7. 3. 6
主要施策	「人が集まる」美しい村づくり	村づくり推進室等	作成係	-

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和6年度)	結果数値についての考察
地域サロン数	15	13	地域サロン数を維持し、今後も百年時代に対応できる、介護制度の維持を図るため

■R7の取組内容

②7	生涯現役の推進	担当課	住民福祉課	記入係							
人口規模10万人前後を一つの目安としつつ、地域の実情に応じて地域の関係者がデジタルを活用して自らデザインする「地域生活圏」の形成を推進する中でも、「人生百年時代」に突入しています。いつでもだれでもが健康で暮らせる村づくりを推進します。 地域サロンの拡充、クロリティーやグラウンドゴルフの大会支援や各種協会の育成などにより、住民が自ら活動できる場の構築支援を図ります。また、草刈り応援隊の指導など、小さなことでも指導者として活躍して頂けるような場の創出を図ります。											
村づくりの方向性と分野を記入すること											
村づくりの方向性		いきいき健康で暮らせるむらづくり		村づくりの分野	高齢者・障がい者・地域福祉						
村づくりの方向性		いきいき健康で暮らせるむらづくり		村づくりの分野	地域コミュニティの強化						
予算項目を記入											
章	3	民生費	節	1	社会福祉費	項	1	社会福祉総務費	事業	1	一般職員費
章			節			項			事業		
取組の成果										評価	B
推進上の課題										方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等											

■これまでの取組み

主な事業内容	事業名： 事業内容：		
取組の成果		評価	B
推進上の課題		方向性	拡大
新たな取組や 見直しの方向等			

自己評価	備考
A	非常に大きな効果が見られた。
B	一定の効果が見られた。
C	あまり効果が見られなかった。
D	全く効果が見られなかった。

方向性	備考
拡大	今後は拡大させる方向である。
維持	今後も維持していく方向である。
縮小	今後は縮小していく方向である。
廃止	今後は廃止方向である。 ※他の事業に統合させたり、新規事業として組み直す場合はその旨を備考欄に記してください。